

# 第14回糸魚川市教育委員会定例会会議録

(平成29年10月24日)

- 1 日時 平成29年10月24日(火) 午前10時から
- 2 会場 糸魚川市役所 庁議室
- 3 出席委員 教育長 田原 秀夫  
教育長職務代理者 佐藤 英尊  
委員 永野 雅美  
委員 楠田 昌樹  
委員 蘆本 修一
- 4 委員以外の出席者  
教育次長兼こども課長 佐々木繁雄  
こども課 課長補佐 磯野 豊 係長 林 壮一  
こども教育課 課長 山本 修 参事 石川 清春  
課長補佐 松村 伸一  
生涯学習課 課長 渡辺 孝志  
文化振興課 課長 磯野 茂 課長補佐 木島 勉  
博物館 館長 大沢 喜昭  
市民会館 館長 原 郁夫  
書記 こども課主査 仲谷 貴子
- 5 報告  
報告第 56号 いじめ・不登校の状況について  
  
報告第 57号 各課・機関所管事項について  
  
報告第 58号 教育委員会共催・後援事業について
- 6 付議案件  
議案第 80号 専決処分の報告について  
糸魚川市教育委員会事務局職員を糸魚川市職員に併  
任することへの同意について  
議案第 81号 糸魚川市立保育園職員の人事異動について

- 7 会議録署名委員の指名 1 番 佐藤委員
- 8 欠席委員 なし
- 9 傍聴者 3 名
- 10 開会 午前10時

田原教育長

これより第 14 回教育委員会定例会を開会する。

昨日からの台風 22 号の被害によって、市内では避難所 3 か所に約 80 人の方が避難され、夜を過ごされた。天候については回復し、水量も落ち着いていると今朝の災害対策本部でも報告されたが、地盤の緩んでいるところもあり、パトロールを継続していくこととしている。後ほど、被害状況を報告させていただく。

また、議案第 81 号は人事案件であるため、非公開としたいがよろしいか。

委員

(「はい」の声あり。)

田原教育長

報告第 56 号いじめ・不登校の状況について、事務局の説明を求める。

石川参事

いじめの状況は、9 月中の認知件数は小学校で 5 件、中学校で 1 件であった。認知件数に対する対応状況であるが、5・6 月に認知されたいじめが解消されている。保護者からの情報提供や先生方の見取りにより、認知されているところである。

不登校の状況は、先月と比較し、中学生男子 2 名、女子 2 名が増えている。対応別の児童生徒の状況であるが、入院・自宅療養等には事故等によるものも含まれている。

起立性調節障害の診断を受けている 5 名についても含まれている。

佐藤教育長職務代理者

いじめのない学校、素早く対応し克服している学校は把握しているのか。

石川参事

子どもたち、保護者や教員が協力して解決している、未然に防ぐ取り組みをしている学校もある。今後、資料を示していきたい。

鶴本委員

夏休み明けを心配していたが、それほど大きな増加にはならなかったようでホッとしている。実際に夏休み明けにそのような傾向を示している事案があったか。

石川参事

今のところ、夏休みに特化した情報はなかった。夏休み中も不登校や傾向を示す子どもたちの家庭訪問などを繰り返してもらっている。大きな増加にはならなかったのは、その結果ではないか

	と捉えている。
齋本委員	その他の長期旅行等も小4、中2にあるが、現在はどうなっているか。
山本課長	これは兄妹である。長期に母の実家がある外国に行っていて、そのまま日本に戻っていないものである。学校に毎日通わせるといふ保護者の意識が低く、働きかけは行っているが帰国には至っていない。
田原教育長	報告第57号各課・機関所管事項について、事務局の説明を求める。
磯野課長補佐	こども課 所管事項報告
石川参事	こども教育課 所管事項報告
渡辺課長	生涯学習課 所管事項報告
木島課長補佐	文化振興課 所管事項報告
渡辺課長	図書館 所管事項報告
大沢館長	博物館 所管事項報告
原館長	市民会館 所管事項報告
磯野課長補佐	規則等の制定・改正
田原教育長	今ほどの説明について、ご質疑はないか。
佐藤教育長職務代理者	文化庁が建造物視察に訪れるのは初めてか。
木島課長補佐	鬼舞の伊藤家を文化庁の参事官が視察するのは初めてである。昨年、一昨年、県が中心となり近代和風建築物の悉皆調査が行われた。市内では、相馬御風宅と鬼舞の伊藤家が選ばれ、調査が行われた。その内の3か所を文化庁の参事官が視察し、今後の保存方法等について検討が行われることとなっている。
佐藤教育長職務代理者	可能性としては、何かしらの指定を受けるということなのか。
木島課長補佐	今のところ具体的に話はないが、文化庁の参事官が視察に入ることが滅多にないことなので、将来的には…という思いもあるが現状としては未定である。
佐藤教育長職務代理者	建造物とは別に個人所有の品物について、非常に貴重なものがあると思うが、把握することは難しいか。
木島課長補佐	焼き物が多くあるようである。古文書については、新潟大学が中心となって目録の作成を行ったが、まだ未分類の古文書が長持ちに2箱ほどあり、県の文書館の協力で目録の作成を継続して行っている。残りは茶箱で50箱ほどあり、伊藤家の土蔵で保管されている。
佐藤教育長職務代理者	希望としては、引き続き公の保護によって今後、維持管理されてほしい。
永野委員	不登校保護者の会についてである。とても良い会を立ち上げていただいた。初回はどのような感じであったか、また、次回は11

山本課長 月 18 日に予定をされているが、今後はどのように行っていくのか。  
10 月に行われた保護者の会では上越教育大学から宮下先生を招き、不登校の子どもたちの心の状況と関わり方について講演をいただいた。その後、保護者同士の情報交換を行ったと聞いている。今まで自分の気持ちを話すこともできずにいたが、話す機会があってよかったという声も聞いているところである。次回は、十日町市に不登校・引きこもりの会があり、その会からおいでいただいて懇談を行う予定にしている。今後は月 1 回程度、開催していく予定である。

楠田委員 報告で 11 名参加とあったが、対象者にどのように周知したのか。  
山本課長 周知は、すべての児童・生徒の保護者に行っている。おいでになった方は、やはり、ご自分のお子さんが不登校となっている方が多かったようである。不登校の高校生を持つ保護者も参加したと聞いている。

永野委員 土曜自習室についてであるが、とても良い事業だと思う。実際には、どのように行っているのか。

渡辺課長 10 月は 3 回目であった。参加者は 3 名と少なかった。その原因は、当日は鉄道まつりなどのイベントと重なったことによるものと考えている。それまでは 10 名程度の参加もあった。ターゲットは小学生だが、高校生の参加もあった。2 時間の開催時間で集中して課題に取り組む様子が見られた。課題を終えて途中で帰る子もいるし、開催時間内、ずっと課題に取り組んでいる子もいた。

蘆本委員 ジオパーク学習交流会についてである。今までに交流会に参加して思うことは、ややマンネリ化してきている。参加者や参観者が固定化している。また参観者が非常に少ない。子どもたちは精一杯練習して、気持ちを盛り上げて参加しているので、参観者もジオパークに関係する皆さんにはぜひ、見に来てほしい。市内外を問わず、応援してくれる皆さんが気軽に来てもらえるように、みんなの学習の場にしてほしい。感じ合える、伝え合える、共感し合える場にしてほしい。  
子どもたちにとっては自信をつける大きな場になる。校外の皆さんに見てもらえることで子どもたちの気持ちが非常に高まる。こういったことが必要ではないかと考える。

田原教育長 しっかりと情報を発信していくことが必要である。周知していく。

蘆本委員 教職員組合市教育委員会交渉が行われたとのことであるが、どのような内容について交渉がされたのか教えてほしい。

石川参事 多くは「多忙化の解消」についてである。また、それに伴って「マンパワーが欲しい」といった要望も出されたところである。

田原教育長 私も出席をしたが、校長会の要望、先日、加茂市で開催された

都市教育長会議の県要望も同様な内容であった。今、働き方改革が言われていて、それは教職員に限ったことではないが、改革を進めるためには、現場での課題が多く、そのために国、県、市からも支援をお願いしたいと要望を受けているところである。

マンパワーについても糸魚川市独自で教育補助員を配置している。教育補助員の配置は他市でも行われているが、その効果の大きさについても聞いている。市長と校長会の懇談でも教育補助員の効果について話があり、国の配置基準もあるが、気になる子、支援の必要な子に対応するために市としては教育補助員の配置も継続していきたいという話をしている。

佐藤教育長職務代理者

子どもたちの部活動や課外活動も教職員の多忙化につながっているとされている。部活動、課外活動の在り方についても今後検討が必要になってくると思われる。

楠田委員

石の相談サービスについてである。非常に多い件数であると思いが、日常業務に支障はないか。

大沢館長

学芸員の日常業務に支障がないかと言われれば、負担をかけているとは思う。ただ、石を持ってこられる方は本当に楽しみにしてお出かけいただいていると思っている。館内の展示してある石を見て、何度も来館してもらっている状況である。石の数はひとり10個までと制限しているが、休日には行列ができることもあり、石に詳しいボランティアにもお願いする中で、何とか来館の皆さんのために対応しているところである。

轟本委員

5歳児発達相談会は糸魚川市にとって非常に重要な事業であると思う。相談会への出席者の推移や状況などを教えてほしい。

磯野課長補佐

具体的な件数は持ち合わせていないが、件数は増えている。子どもの発達が気になる保護者が増えていると思われる。これは、発達支援センターめだか園が中心となり園訪問を行い、園の保育士から気になる子がいれば保護者に声かけをするなどによるものも大きい。関係者からみるとそれほど心配のない子どもたちの保護者からも申し込みがあれば、できるだけ手厚く対応していきたいと思っている。

轟本委員

相談会の必要性が低い相談を受けていることに非常に意味がある。それだけ子どもの発達について興味、関心を持って、積極的な子育てをしているということである。受け入れ態勢を整えて今の方向で進めてほしい。

田原教育長

議案第58号教育委員会の共催・後援事業の報告については、共催1件、後援6件を行った。

田原教育長

議案第80号は専決処分の報告についてである。糸魚川市教育委

佐々木教育次長

員会事務職職員を糸魚川市職員に併任することへの同意について、事務局の説明を求める。

糸魚川市教育委員会事務局職員を糸魚川市職員に併任することへの同意についての専決処分である。

1人目は、駅北大火の復旧、復興の用地業務対応に伴う体制整備のため、文化振興課小池悠介主事を9月1日から9月30日まで、さらに10月1日から10月6日まで併任したものである。

2人目は、駅北大火の復旧、復興の建築住宅業務対応に伴う体制整備のため、生涯学習課丸田均主査を10月16日から12月31日まで併任したいものである。

いずれも駅北大火の復旧、復興のために、道路拡幅や用地取得に伴う人員が不足していたり、建設課職員が駅北大火対応もしながら通常業務を行わなければならない、人的に不足している部分を補うものである。

田原教育長  
委員

今ほどの説明について、ご質疑はないか。

(「なし」の声あり。)

田原教育長  
委員

それでは採決に入る。この議案についてご異議はないか。

(「異議なし」の声あり。)

田原教育長

異議なしと認め、承認する。

**原案のとおり承認**

田原教育長

これより非公開とする。

議案第81号 **原案のとおり承認**

田原教育長

これより公開とする。

## 11 次回教育委員会定例会開催日

平成29年11月27日(月) 午前10時より

## 12 その他

田原教育長

佐々木次長

台風21号による被害状況等について、事務局の報告を求める。

台風21号は大変多い降雨となった。西飛山では412mmという豪雨であった。現在、市内数か所で大きな土砂崩れなども発生している。避難所は、西海地区公民館、上南地区公民館、青海生涯学習センターの3か所に80名近くの住民が避難した。現在、上南地区公民館、青海生涯学習センターの避難所は午前10時に閉鎖され、西海地区公民館についても、現状確認によっては午後から避難所が閉鎖となる見込みである。避難した地区内には西海小学校の4

名が含まれている。

市内学校、保育園、幼稚園の被害で、雨もり、雨のふきこみ、電気系統の不具合による誤作動などが報告されている。応急的に処理をしたものや、予算措置が必要なものもあると思われる。

学校は比較的まわりに建物がなく、グラウンドもあるため、より雨が吹き込みやすい状況であったと思われる。

渡辺課長

生涯・文化施設の被害は、10か所であった。多くは強風による雨のふきこみによる雨もりであった。いずれも応急対応をしてきている。

田原教育長  
委員

今ほどの説明について、ご質疑はないか。

(「なし」の声あり)

田原教育長  
佐藤教育長職務代理者

他に何かあるか。

いじめ・不登校についてであるが、今は起こった事案の対応をしているわけだが、そういうことだけではなく、いじめをなくすことに特化して教育推進をしていくことを検討する時期に来ているのではないか。今後の検討課題の一つとしてほしい。

田原教育長

県民大会や、いじめゼロスクールをより発展させてということになるだろう。

山本課長  
永野委員  
佐藤教育長職務代理者

事業がマンネリ化してきているようにも感じている。

道徳科も新たに加わるので、それとも関連付けてほしい。

マンネリ化という言葉は教育界にはあってはならないように思う。

### 13 閉会

田原教育長

現在、実施計画や新年度予算の作成時期である。教育委員会で出された意見を少しでも反映ができるように取り組んでいきたい。

第14回教育委員会定例会を閉会する。

午前11時10分 終了